こくご
小学2年

SAMPLE

● この 本に ついて ●

こくごを　たのしく　べんきょうする　本です。

○ もくじ ○

1　かん字 …… 2
2　なかまのことば／ものがたりをよむ …… 6
3　はんたいご・かぞえることば／ものがたりをよむ …… 10
4　文をつくる／しをあじわう …… 14
5　つなぎことば・こそあどことば／せつめい文をよむ …… 18

©JIKS11-18-01

1 かん字

がくしゅうび　／

1　つぎの　それぞれの　――せんの　かん字を　ひらがなに　なおして、文ぜんたいを　ひらがなで　かきましょう。

□(1)　木の　下で　休む。
（　　）（　　）

□(2)　川で　花火を　する。
（　　）（　　）

□(3)　正しく　文字を　学ぶ。
（　　）（　　）

□(4)　山に　赤い　夕日が　しずむ。
（　　）（　　）

□(5)　町や　村が　ある。
（　　）（　　）

2　つぎの　それぞれの　ことばの　よみかたを　ひらがなで　かきましょう。

□(1)　一つ　（　　）

□(2)　二つ　（　　）

□(3)　三つ　（　　）

□(4)　四つ　（　　）

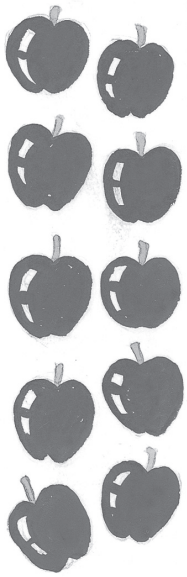
□(5)　五つ　（　　）

□(6)　六つ　（　　）

□(7)　七つ　（　　）

□(8)　八つ　（　　）

□(9)　九つ　（　　）



SAMPLE

3 つぎの それぞれの □に、右の ひらがなを かん字で かきましょう。

(1) □ カブトムシは □(むし)の □(おう)さまだ。

(2) □ きゅうじつ □は、よい □(てんき)だった。

(3) □ □(がっこう)の □(せんせい)に なりたい。

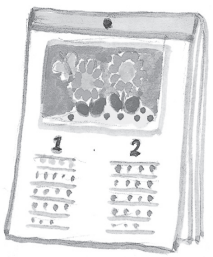
(4) □ □(あか)い □(くるま)が はしる。

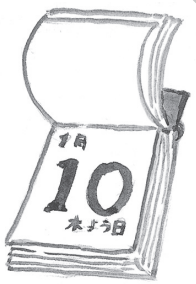
(5) □ □(あめ)が □(やみ)、□(あおぞら)が ひろがる。

4 つぎの それぞれの □に あてはまる かん字を 一字 かきましょう。

□ ← □ ← 木 ← □ ← □ ← □ ← 日

□ようび　□ようび　木ようび　□ようび　□ようび　□ようび　日ようび





SAMPLE

5 つぎの それぞれの かん字の やじるし（↓）が さして いる かくは なんかく目に かきますか。すう字で こたえましょう。

(1) 右（　　かく目）

(2) 女（　　かく目）

(3) 足（　　かく目）

(4) 学（　　かく目）

(5) 車（　　かく目）

6 つぎの それぞれの 二かくの かん字では、どちらの かくを 先に かきますか。先に かく ほうの かきはじめの ばしょに ○を つけましょう。

(1) 九

(2) 七

(3) 人

7 つぎの それぞれの かん字と おなじ かくすうの かん字を、あとから 二つずつ えらび、かきましょう。

(1) 水（　　）（　　）

(2) 糸（　　）（　　）

(3) 出（　　）（　　）

先 石 名 円 山
五 夕 赤 四 足

SAMPLE

8 つぎの それぞれの かん字の たしざんを しましょう。

□(1) 一＋白＝（　　）

□(2) 日＋十＝（　　）

□(3) 立＋日＝（　　）

□(4) 田＋力＝（　　）

□(5) 木＋木＝（　　）

□(6) 木＋林＝（　　）

---

9 つぎの それぞれの 文の ――せんの かん字は、どんな かん字が くみあわさって できて いるかを かんがえて かきましょう。

□(1) からすが かあかあと 鳴く。

□(2) あさに なって、明るく なる。

□(3) ごつごつと した 岩に のぼる。

SAMPLE

2 なかまのことば／ものがたりをよむ

■がくしゅうび　／

1 （れい）の　ように、つぎの　それぞれの　あつまりに　あてはまる　ことばを　あつめて、かきましょう。

（れい）

いろ

あか・あお・しろ・きいろ・くろ

□(1)

けもの

□(2)

くだもの

□(3)

文ぼうぐ

□(4)

さかな

SAMPLE

2　つぎの　それぞれの　あつまりを　まとめて　よぶ　ことばを　かきましょう。

(1) □

つばめ
くじゃく
はと

(2) □

ひまわり
あさがお
たんぽぽ

(3) □

じてんしゃ
じどうしゃ
ひこうき

3　下の　ことばを　三つの　あつまりに　わけて、まとめて　よぶ　ことばを　かんがえて　かきましょう。

(1) □

(2) □

(3) □

はる
なつ
ちち
たのしい
あね
うれしい
ふゆ
くるしい
かなしい
あに
おとうと
はは
あき

SAMPLE

4　つぎの　文しょうを　よんで、あとの　もんだいに　こたえましょう。

〈砂田弘「ねこねこ大行進」より〉

SAMPLE

（注）バッハ・ゴクラク＝家の　かいねこの　なまえ。

□(1)　――せん①「ロビンが　そとに　でかけて　いる」と　ありますが、ロビンは、なにを　する　ために、そとに　でかけたのですか。かいて　こたえましょう。

□(2)　――せん②「げんかんで、チリンチリンと、すずの　鳴る　音が　した」と　ありますが、これを　きいた　とき、明の　一家は、なぜ　すずが　鳴ったと　おもいましたか。かいて　こたえましょう。

□(3)　※　に　入る　ふさわしい　ことばを、文しょう　中から　かきぬいて　こたえましょう。

(4)　――せん③「かけつけて　きた　パパたちが、目を　まるく　した」に　ついて、つぎの　①・②の　もんだいに　こたえましょう。

□①　パパたちは、ロビンが　どう　した　ことを　しって、目を　まるく　したのですか。かいて　こたえましょう。

□②　この　ときの　パパたちの　きもちと　して　ふさわしい　ものを　つぎから　一つ　えらんで、（　）に　○を　かいて　こたえましょう。

（　）ロビンは　かわった　ねこだなあ。
（　）ロビンは　かしこい　ねこだなあ。
（　）ロビンは　かわいそうな　ねこだなあ。
（　）ロビンは　らんぼうな　ねこだなあ。

SAMPLE